



宗教上の食事内容に 配慮した取り組み

業務改善委員会委員 食養室 奥田 舞

当院で出産される患者様で「イスラム教」の方が時折いらっしゃいます。宗教上の食事内容に配慮した私たち食養室の取り組みを紹介します。

イスラム教では豚肉とアルコールの摂取が禁じられていますが、それらの食材をどこまで厳密に避けるかは宗派や個人によって大きく異なります。豚肉そのものでなければOK、料理で使うお酒は気にしません、という方もいらっしゃれば、豚肉のエキスを含むようなブイヨンやゼラチン、たとえ製造工程でアルコールのほとんどが揮発すると考えられている醤油やみそもダメという方もいらっしゃいます。

イスラム教の患者様の出産予定が決まると、外来受診時に管理栄養士が伺い、どの程度まで食材が使えるか聞き取りを行います。出産予定日と使用可能な食材を給食委託会社のセントラルキッチン（以下CK）に連絡し、献立作成を依頼します。出産予定日前でも切迫早産などで入院することもあるため、魚の塩焼きなどのフリーズ食を在庫しておくことも必要です。献立はCK管理栄養士によりダブルチェックのもと作成されますが、病院の管理栄養士も最終チェックを行い厨房へ掲示します。予定になかった帝王切開となると流動食～軟菜食の献立を病院の管理栄養士が考える必要があります。盛り付けやトレーメイク（盛り付けた食事をトレーに乗せる作業）で何度も確認を行い、ようやく患者様のもとへ提供となります。

食事をおいしく安全に食べたいという気持ちは国や宗教が違ってても同じことであり、それは患者様の権利であると考えます。最近では外国人観光客が増えているだけでなく外国人労働者の受け入れ拡大により、今後はイスラム教の患者様の急な入院が増えてくと予想されます。食養室では、イスラム教の患者様の急な入院にも対応できるマニュアル作成を早急に進めているところです。



トレーメイクの様子です。アレルギーの別献立と配膳予定のおかず間違いがないかチェックしています。



シリーズ “統計のはなし” No.7

最近翻訳版が出版されたFACTFULNESS（ファクトフルネス）という本をご存知でしょうか。発行元の紹介文（下記）にあるように、データに基づいて判断する習慣をつけましょう、と次々と世界の様子をデータで伝えてくれる本です。内容や語り口もとても易しく、スルスルと読めてしまいます。

ファクトフルネスとはデータや事実にもとづき、世界を読み解く習慣。賢い人ほどとらわれる10の思い込みから解放されれば、癒され、世界を正しく見るスキルが身につく。

世界を正しく見る、誰もが身につけておくべき習慣でありスキル、「ファクトフルネス」を解説しよう。

（日経BP:

<https://www.nikkeibp.co.jp/atclpubmkt/book/19/P89600/>）

帯には「ビル・ゲイツ、バラク・オバマ元アメリカ大統領も大絶賛!」「賢い人ほど世界の真実を知らない」など、煽る言葉が躍っていますが、その理由もなすける内容です。

気になる方、上記のURLをクリックして「13問のクイズ」のうちの2問を読んでみてください。さらに気になる方、本を手にとって13問のクイズに答えてみてください。どれだけ知らないか、偏って思い込んでいたか、はっと思い知らされます。

私たちがクイズの内容を単に知らないだけではなく、認識が違ってしまふのはなぜでしょうか？この本では「悪いことに注目してしまう」「二極化して捉えてしまう」「直線的に増減すると予想してしまう」「知っていると思い、変化を見届けない」といった偏りがあって、認識違いをしてしまうと解説しています。そして「私は偏っていない、正しい」というのも大きな偏りだとも。

さまざまなデータの読み解き方を眺めながら、自分の偏りに気付く体験をしてみてもどうでしょうか？数式も、難しい定義も出てきませんよ。データの読み取りに自信がある方は、この本にも潜む偏りや恣意性を見つけることも一つの楽しみかもしれません。今回のコラムは以上です。趣を変えて本の紹介をしてみました。

経営企画室 SE 佐藤洋之



裏面は「退院後2週間以内のサマリ記載割合」についてです。是非、ご覧ください。





全日本民主医療機関連合会

医療の質の向上・
公開推進事業
Quality Indicator-Improvement

全日本民医連DPC参加病院300床以上との比較

毎号1つの指標についてベンチマーク結果や時系列の推移など紹介していきます。

退院後2週間以内のサマリ記載割合

【指標の意義】

速やかな作成が医療関係者の診療情報把握を助け、情報共有の資料となる

病院機能評価機構および臨床研修評価機構の評価項目

◇一定期間内にサマリを作成することは病院の医療の質向上につながり、作成率は重要な医療の質指標となる

全日本の中央値は
93%以上のところ、
当院は低い傾向となっている

